

# 再 評 価 書

箇所名	近鉄名古屋線川原町駅付近（連続立体交差）	事業名	街路事業	課 名	都市政策課
事業概要	工 期	H18年～ H29年	全体事業費	105.65億円 (負担率：国0.55：県0.225：市0.225)	
<b>事業目的及び内容</b>					
<p><b>■事業箇所周辺状況</b>          近鉄四日市駅周辺の鉄道高架化については昭和46年に都市計画決定が行われました。          その後、1期工事区間として近鉄名古屋線の国道1号から三滝川までの約1,700m区間と、近鉄湯の山線の四日市駅から中川原付近までの約1,800m区間が事業認定され、昭和52年までに整備が完了しています。          その後、周辺の区画整理事業等と調整を行い、平成18年度から当事業に着手したところです。          事業箇所の周辺は区画整理事業によって住宅地が形成された地域となっています。また、道路網としては東西方向に国道365号や国道477号、南北方向に国道1号が通過する交通の要所となっています。          しかし、川原町駅周辺の道路は幅員が非常に狭く歩道も整備されていないため、人と車が輻輳し非常に危険な状況となっています。また、線路によって町が分断され、町づくりの支障となっています。          国道365号と重用する都市計画道路四日市関ヶ原線は交通量も多く踏切遮断時間も非常に長いため、常時渋滞が発生している状況です。</p> <p><b>■事業目的</b>          踏切を除去し、道路を整備することによって自動車交通の円滑化を図り、安全な交通機能を確保するとともに、「国道477号西浦バイパス道路改築事業」、「二級河川三滝川河川改修事業」を一体的に整備し、鉄道を高架化することによって総合的なまちづくりを行っていきます。</p> <p><b>■事業の内容</b>          事業の内容は次の通りです          ・事業期間 平成18年度～平成29年度          ・総事業費 105.65億円          ・事業延長 L=680m          ・除去踏切 4箇所</p>					
<b>事業主体の再評価結果</b>					
<p>1 再評価を行った理由          事業採択後一定期間が経過し、なお継続中の事業であるため、三重県公共事業再評価実施要綱第2条（2）に基づき再評価を行いました。</p>					
<p>2 事業の進捗状況と今後の見込み          ① 平成26年度末の事業進捗率は76%（工事74%、用地100%）となっています。          ② これまでに（都）四日市関ヶ原線を供用（近鉄仮線による高さ制限あり）し、1箇所の踏切を除去しました。          ③ 鉄道については平成26年度に下り線を高架線に切り替え済みであり、現在上り線の高架化を推進中です。          ④ 上り線が高架線に切り替わることによって残り3箇所の踏切を除去し、その後側道、公園等の復旧を行い平成29年度末に事業完了する予定です。</p>					
<p>3 事業を巡る社会経済情勢等の変化          事業箇所周辺には市街地が形成されており、区画整理事業等によって土地利用の高度化が見込まれ、引き続き人口集積が予想されます。          四日市市の総人口は微減であるものの、市街地については増加傾向にあることから、依然として事業の必要性は高いものと考えます。</p>					

4 事業採択時の費用対効果分析の要因の変化、地元意向の変化等

4-1 費用対効果分析

費用便益分析マニュアルに基づき、費用対効果分析を行った結果は、下記のとおりになりました。

費用便益分析結果

単位：億円

区分		今回評価 (平成27年度)	備考
費用	事業費	117.7	
	維持管理費	0.2	
	合計	117.9	
効果	移動時間短縮便益	151.9	
	走行経費減少便益	2.9	
	交通事故減少便益	21.8	
	合計	176.6	
費用便益分析結果 (B/C)		1.5	

4-2 その他の効果

・救急医療活動の支援

踏切を除去することによって、救急医療活動に係る時間が短縮されます。

・地域活性化

踏切・線路を除去し、幹線道路を始めとする周辺道路の整備をあわせて行うことにより、地域が一体化され、町の活性化が期待できます。また、高架下が有効利用できるため、新たな都市空間が生まれます。

4-3 地元意向

事業箇所周辺には多数の人家が存在しており、四日市市、地域住民等から早期整備への要望があります。

また、総合的なまちづくりを行うために地元住民の代表者と意見交換を行う場として、地域連絡協議会を定期的  
に開催するとともに、現地見学会や地元説明会についても定期的を開催し、随時地元からの意見を反映させている  
ところです。

5 コスト縮減の可能性や代替案立案の可能性

5-1 コスト縮減

- ・高架橋の施工方法を「単線分割施工方式」から「複線一括施工方式」に見直すことにより、高架橋の断面、鉄筋量を少なくし、コスト縮減を図ります。
- ・高架線への切り換えによって不要となった仮線マクラギやレール等の軌道設備について、近鉄沿線の老朽化した線路の復旧に再利用することによってコスト縮減を図ります。
- ・街路事業による鉄道高架化、道路事業によるバイパス整備、河川事業による橋梁改築等を一体的に整備することによって総合的なコスト縮減を図っていきます。

5-2 代替案

事業の進捗状況及び費用対効果分析結果から、代替案はありません。

再評価の経緯

再評価の経緯はありません。

事業主体の対応方針

三重県公共事業再評価実施要綱第3条の視点を踏まえて再評価を行った結果、同要綱第5条第1項に該当されるため当事業を継続したいと考えています。